

あのね編集委員の

転勤ママ必見★

「つがる弁さんじゃらっと講座」

さんじゃらっと…さらっと、ちょこっと、ほんのちょっと

(つがる市在住の編集委員による解説です。地域や世代によって微妙に異なることもあります)

例文①【はぐらんおごせはまいねはんで、ぼうしつこがぶてげー】

訳 熱中症になるといけないから、帽子をかぶって行きなさい。

解説 はぐらん=熱中症。日差しが強い日、暑い日は熱中症で白眼をむく前に帽子をかぶって予防しましょう。

例文②【ばっちゃ、よみやさいぐはんでじえんこけー】 【だらつこでもいば、けらはんで、わんつがまぢろ】

訳 おばあちゃん、宵宮に行くからお金ちょうだい。
小銭でもよかったらあげるから、ちょっと待ってて。

解説 だら=小銭。ドルではありません(笑)。夏祭りに遊びにきたかわいい孫に、つい財布の紐もゆるみがち。

★転勤、転居などで県内にお住いのみなさん、意味のわからない青森弁(津軽弁、南部弁、下北弁)、言葉が通じなくて困った経験はありませんか？ 編集部までどしどしお寄せください。

<学習・体験事業>

絵本作家

とよたかずひこさんの

おはなし会



日時) 令和2年 8月30日 日
10:00~11:20

会場) アピオあおもりイベントホール

対象) 赤ちゃんから小学生とその保護者、子育て支援関係者等

定員) 50人

申込先) 青森県子ども家庭支援センター

受付) 7月30日から

電話) 017-732-1011

(※を除く9:00~17:00)

FAX) 017-732-1073

メール) kodomo-iken@apio.pref.aomori.jp

今後の新型コロナウイルス感染の状況によっては講師が変更になる場合があります。ご了承ください。

青森県子ども家庭支援センター

所在地: 〒030-0822

青森県青森市中央3丁目17-1 アピオあおもり

開館時間: 月~土 / 9:00~21:00

日・祝 / 9:00~17:00

プレイルーム利用時間(令和2年6月1日より)

9:00~12:00、13:30~16:30

予約は必要ありませんが、当面の間、密を避けるため、おおむね7組を超えた場合にお待ちいただくことがあります。

休館日: 毎週水曜日・年末年始(12/29~1/3)

TEL: 017-732-1011

FAX: 017-732-1073

URL: <http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo2011/index.html>

ひとりで抱え込まずにご相談ください

子どもや家庭に関する相談をお受けします

◎どなたでもどうぞ

☎ 017-775-8080

◎秘密は守ります

9:00~16:00

◎相談は無料

(水曜日・年末年始を除く毎日)

◎ホームページ「子育てQ&A」もご覧ください

<http://www.apio.pref.aomori.jp/kodomo2011/soudan.html>
青森県子ども家庭支援センター総合相談

・編・集・後・記・

あのね初&私の人生初のリモート会議。お顔が並ぶ小さな画面を凝視する不思議さ、自分の顔から思わず目をそらす程の気まずさ(笑)。しかし、画面を通してはいても、それらを遥かに凌ぐ、皆さんとの再会の喜び!!文明の力、運営の方々に感謝です!(あ)

感染症対策としてソーシャルディスタンスをとっての編集会議。自粛の生活の中で、何をどう伝えたいのか、みんなで試行錯誤を重ねての編集作業。大変でしたがとても実りある経験となりました。(陽)

子育て啓発情報誌「あのね」

第37号 令和2年7月

編集・発行/青森県子ども家庭支援センター
編集スタッフ

工藤美穂・大門あすか・田澤陽子・月岡美保
表紙/長谷川真理子

交通のご案内

◆青森市営バス利用

●中央循環線

「アピオあおもり前」下車

●市民病院線

●横内環状線

●問屋町行き

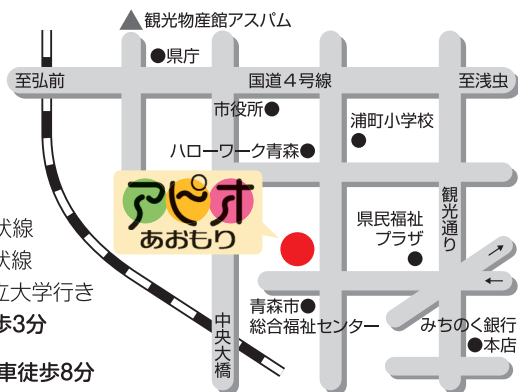
●浜田環状線

●朝日放送行き

●青森公立大学行き

「働く女性の家前」下車徒歩3分

●国道4号線「市役所前」下車徒歩8分



駐車場80台 できるだけ公共交通機関をご利用の上、ご来館ください。

青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センターは、指定管理者青森コミュニティビジネス株式会社が受託・運営しています。